

昭和5年1月
黒岩スキー場（エナミゴシ）（阿波）

写真提供・小椋英祐さん（阿波）



昭和5年1月に開業した黒岩スキー場（エナミゴシ）の安全祈願の風景です。このスキー場は旧阿波村の北東部、鳥取県境に接する黒岩高原にあり、県内でも早い時期に開業しました。昭和3年から現地調査が始まり、昭和4年にはスキー場管理小屋の建設、登山道の整備などが行われます。

創業者の小椋重男さんはスキー客誘致のために旧国鉄大阪鉄道局（現在のJR西日本大阪鉄道管理局）に何度も陳情に赴きました。また、週に1度、積雪量を報告するために加茂駅（昭和6年からは美作河井駅）まで自転車で通ったそうです。そのような努力もあり、スキー客は年々増加。昭和9年には大阪〜美作河井駅間で臨時スキー列車が運行されました。また、美作河井駅から黒岩スキー場登山口までの間に臨時の乗合バスが運行された年もありました。村の冬の娯楽として多くのスキー客でにぎわった黒岩スキー場でしたが、昭和12年3月に閉業。翌年1月には大ヶ山スキー場が開業します。

重男さんは生前「春から秋は放牧場、冬はスキー場の仕事で、でーれー忙しかった」と家人に語っていたそうです。跡地には昭和25年ごろまで管理小屋が残っていました。



現在の黒岩高原

このコーナーは歴史的
文化資産のデジタルアーカイブ（古写真のデジタル化）事業の成果の中から紹介しています

問い合わせ先
津山郷土博物館
☎22-4567

表紙について

グラウンドゴルフ大会
11月16日、津山スポーツセンター

東苫田地区の老人会と愛育委員会の交流会として開催されたグラウンドゴルフ大会。穏やかな日差しの中、皆さん和気あいあいと楽しそう。思わず立ち寄り、写真を撮らせていただきました。

つ・ぶ・や・き

編集室



年末に書く4回目の編集後記。今年も1年間、広報つやまを読んでいただいた感謝と取材に協力していただいた人へのお礼、そして4年間、あまり成長しない編集と文章のおわびを込めて、来年も（わたしは「こそは」）良い年になりますように。。（&）

皆さんはもう年賀状、書き始めてますか？わたしは「今年こそは！」と意気込んで早めにはがきを買ったまではよかったものの、いまだに棚の上。今年も我が家の編集長の「ダメ出し」に何度も作り直すんだろうなあ。よくよく考えたら広報の校正より厳しいかも。（修）

やっとなんて寒くなってきたと思ったら、もうすぐクリスマス。今年のサントさんは子どもたちへのプレゼントをちゃんと早めに用意してくれるでしょうか。いつもドタバタの年賀状も気になります。掃除ができていない部屋も今はまだ見ないふり…。ああ、年末がコワイ！（和）

編集・発行（毎月10日発行）

津山市総合企画部秘書広報室（市役所3階）〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-23-2111(代) ☎0868-32-2152 Eメール kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます
<http://www.city.tsuyama.okayama.jp/>



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル（雑誌）にご協力ください

